

まちの話題

ISA City Topics



川の民話集 寄贈



川内川流域の3市2町の団体からなる「川内川流域連携ネットワーク」の発足10周年を記念して、財団法人河川環境管理財団から送られた図書30冊を、中村周二代表から伊佐市に寄贈されました。全国の川にまつわる民話を選びすぐって集めた本で、市内の小中学校などに設置される予定です。

消防長表彰



1月末、伊佐市大口の70代男性宅を訪問した大口包括支援センターの職員が建物火災を発見。二人は冷静な判断で迅速な人命救助と延焼拡大を防止した功績が称えられ、伊佐湧水消防組合消防長表彰を受けました。

橋口和代さん（尾之上・61歳）
上ノ原美幸さん（朝日町・31歳）

思い出の学び舎に別れ

4月から「大口中央中学校」となる大口、大口南、山野の3中学校で閉校式が催され、在校生だけでなく卒業生や地域住民が参加しました。

各校とも閉校式と記念碑除幕式のあと開かれた感謝とお別れの会では、劇や太鼓・吹奏楽の演奏、思い出スライドショーなどがあり、会場は寂しさの中にも新たな歴史へ踏み出す生徒たちへの期待感で涙と笑顔に包まれました。

新中学校は現在の大口中学校に開校します。



大口中学校
ohkuchi



大口南中学校
okuchiminami



山野中学校
yamano

大口電子(株)と立地協定締結



市と大口電子株式会社は2月23日、県の担当者の立ち会いのもと、工場増設の立地協定を結び、柳沼代表取締役と隈元市長が調印しました。

大口電子株式会社で製造する日射遮蔽インクは、自動車や建物の窓用フィルムのコーティング材料として利用され、その需要が旺盛であり今後も引き続き受注増加が期待できることから、今回、第二工場増設に至りました。第二工場は来年1月に操業予定です。

これにより、伊佐市の産業振興への貢献、雇用創出などの効果が期待されます。

シイタケ駒打ち体験



羽月堂崎の福元良男さん(65歳)宅の庭に、あゆみ保育園の3~5歳児46人が訪れました。庭には小さな穴がいくつも空けられた丸太が並びます。福元さん手作りのとんかちを手に持った園児たちは、自分の原木を一本決めて、コンコンと器用に駒を打ちこんでいきました。早く終えた園児は、ほかの原木に打ち損ねの穴がないか探しては、また打ちこんでいました。

この日は、先輩園児たちが駒打ちしたシイタケの収穫も体験できました。

針持ニコニコ手作りひなまつり



針持校区コミュニティが校区を元気にしようと始めた「針持ニコニコ手作りひなまつり」が針持青少年センターでありました。

高齢者いきいきサロンの参加者が作った干支雛などが人気で、今年で8回目。山間部の小さな集落でありながら、この恒例行事を楽しみに県内外からたくさんの方が訪れています。お客に混じって学童にきていた針持小児童たちも会場を明るくしていて、高齢者と子どもたちの自然なふれあいがお互いを支え合い、地域の活力を感じました。

伊佐チャリティ音楽祭



3月8日、大口ロータリークラブ、伊佐ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト大口伊佐の主催による伊佐チャリティ音楽祭が開催されました。

東日本大震災の記憶を風化させないようにと始まったもので、今年4回目。市内で音楽活動をしている9団体が参加しました。

会場外の大口ふれあいセンター前広場ではマルシェ ISAnoBA を同時開催。こちらでもダンスや高校生による沖縄組踊「ちむどん」の披露がありました。

このイベントで集まった募金は、震災孤児を支援する団体 JETO みやぎとへ寄附されます。